

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立 西深津小 学校

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価（10月1日）				最終評価（2月末）			
							□指標に係る取組状況	プロセス評価	達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期（中期）経営目標の達成状況	プロセス評価	達成評価	総合評価
7	児童の主体的・対話的で深い学びを全教室で展開	★	継続	児童の生きて使える知識・技能の力を高め、それを活かした主体的・対話的で深い学びを実践する。	<ul style="list-style-type: none"> 児童の認知能力を把握し、向上させるためにチャレンジタイムの充実を図る。 指導要領に基づき、単元の系統性、つきたい力を明確にして単元構想を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元末テスト（算数科）知識・技能B以上を75%以上 思考・判断B以上を65%以上 各学年、年1回以上単元構想を行う。 								
4	安心して、自己の可能性を発揮できる環境づくり	★	継続	児童が自分の良さを発揮し、互いに認め合い、自己肯定感を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 他学年との交流の場など、子どもが力を発揮できる場づくりを行い、そこでの活躍する姿を肯定的に評価する。 行事、縦割りの活動、及び日常生活の中での頑張りを肯定的に評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケート（自分にはよいところがある）肯定的評価 75%以上 								
				児童が、地域に愛着を持ち、地域の一員としての自覚を持つ。	<ul style="list-style-type: none"> 生活科、総合的な学習の時間、家庭科を中心とした教科や行事等で、地域のためにできることを意識して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケート（自分たちが住んでいる西深津が好き）肯定的評価 85%以上 各学年、年1回以上地域と関わる学習を行う。 								
2	教職員がやりがいを持ち、良さを発揮できる取組の推進		継続	教職員が、個性を発揮し、子どもと共に、学ぶ楽しさを実感する。	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に互いの授業を見合い、認め合い、考えを伝え合う場をもつ 児童の達成感が得られるような授業・行事を実施するための授業づくり、教材研究に当てる時間の確保する。 	福山100NENアンケート「日々の授業や子どもの姿について、立場や役割を越えて対話している」「仕事にやりがいを感じる」90%以上								

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。